

取組状況のフォローアップ

(湧別川ほか)

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

・防災ハンドブックの更新

・「湧別川の役割・特徴」について、出前講座を実施



■迅速かつ確実な水防活動のための取組

・重要水防箇所の見直しを実施

・重要水防箇所の共同点検を実施

最新の重要水防箇所調書は網走開発建設部HPで公表しています。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr0000002r5m.html>

尚、市町村ごとに重要水防箇所図と重要水防箇所調書を別途、メールで配布します。

トップページ | 治水課 > 重要水防箇所について

重要水防箇所について

ページ内目次

▼重要水防箇所について ▼お問合せ先



■ 効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・災害対策用機械の操作訓練を実施



⇒ R4年度以降も引き続き、継続実施する

■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

・市町村向け研修会を実施。

○感染症対策を踏まえた災害対応研修会(紋別市)



■水防活動体制の強化

・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行った。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する

■危機管理型ハード対策

- ・生田原川にて堤防天端舗装を実施。



■水防活動の資機材整備

- ・生田原川にて防災備蓄基地のヤード造成に継続実施



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- ・サナブチ川で河道掘削を実施
- ・生田原川で堤防整備を実施



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 防災対応力の向上のために、防災担当の方々が地元気象台から発表される各種防災気象情報を適切に理解し、それに基づく適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学んでいただくことを目指した、気象防災ワークショップを開催しました。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施します

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 1日防災学校の実施に協力しました。
(遠軽町) 安国小
(湧別町) 中湧別小、湧別高



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施します

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・ 計画的に各種訓練等を実施して練度の維持・向上を図るとともに、定期的に非常呼集訓練を実施して即動態勢を点検



災害用ドローンを使用した訓練



訓練における救命具の準備



災害等に対する即動態勢を保持

引き続き **計画的に訓練を実施**するとともに、**即動態勢を保持**

■効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・ 各結節を捉えた各種器材の整備（機能点検）・取扱い教育を実施して災害等の事態に万全を期すとともに、気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育



人命救助システム（車両積載時）



人命救助システム内容品（抜粋）



取扱い要領を各隊員に教育

引き続き **各結節において整備（機能点検）**・**取扱い教育を実施**するとともに、**気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育**

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 北見方面本部

災害用ドローン操縦訓練



○ 北見方面本部及び遠軽警察署

網走地方気象台と連携した教養セミナーの開催



北見方面本部



遠軽警察署

○ 遠軽警察署



ミニ広報紙や各種講話を通じて防災意識を啓発



(その他)

- ・ 常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した。
(北見方面本部)
- ・ 大雨、河川の水位、天候の見通し等について、関係機関と情報共有を図った。
(北見方面本部、遠軽警察署)

⇒R4年度以降も引き続き、継続して実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

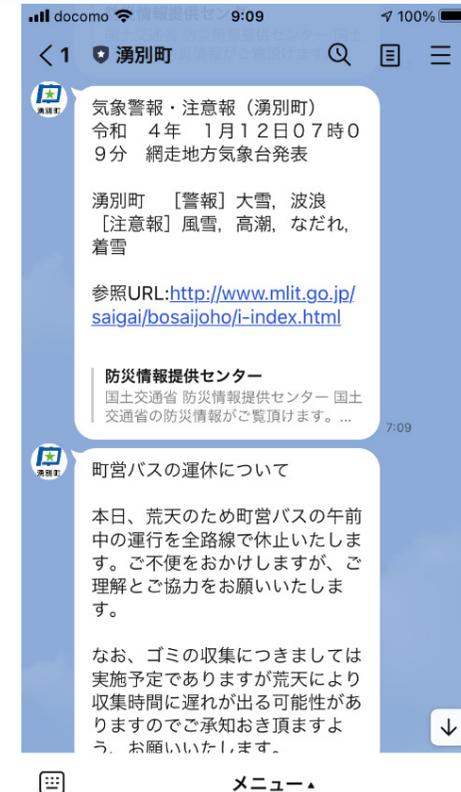
○非常災害時における情報伝達手段の多重化

令和3年12月～従来の登録制メールに加え、LINEによる「防災情報」の配信を開始。

〔令和4年1月現在: 友だち登録362件〕

○災害用備蓄食糧の整備・更新

・アルファ米の更新、保存用パン・スナックの整備



アルファ米 (1,500食)



保存用パン (720食)



保存用 ルヴァンスナック・ビスコ



⇒R4年度以降も引き続き災害用備蓄食糧の整備・更新を実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○防災意識の啓発

・1日防災学校の実施(小学校)



1・2年生:防災カルタ、雲発生実験



3・4年生:学習用タブレットを活用した防災学習



3・4年生:ハザードマップ説明



5・6年生:災害のメカニズムを学ぶ



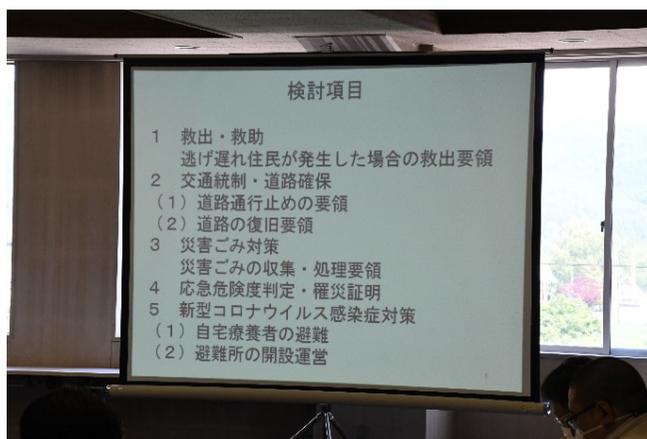
⇒R4年度以降も引き続き、防災学校を継続実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

◇ 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、湧別川流域ほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する

- ・ 災害対策本部図上訓練の実施



- ・ 網走気象台職員の協力を得て1日防災学校の実施(安国小学校)



■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 防災活動のためのハード整備及び有効活用取組

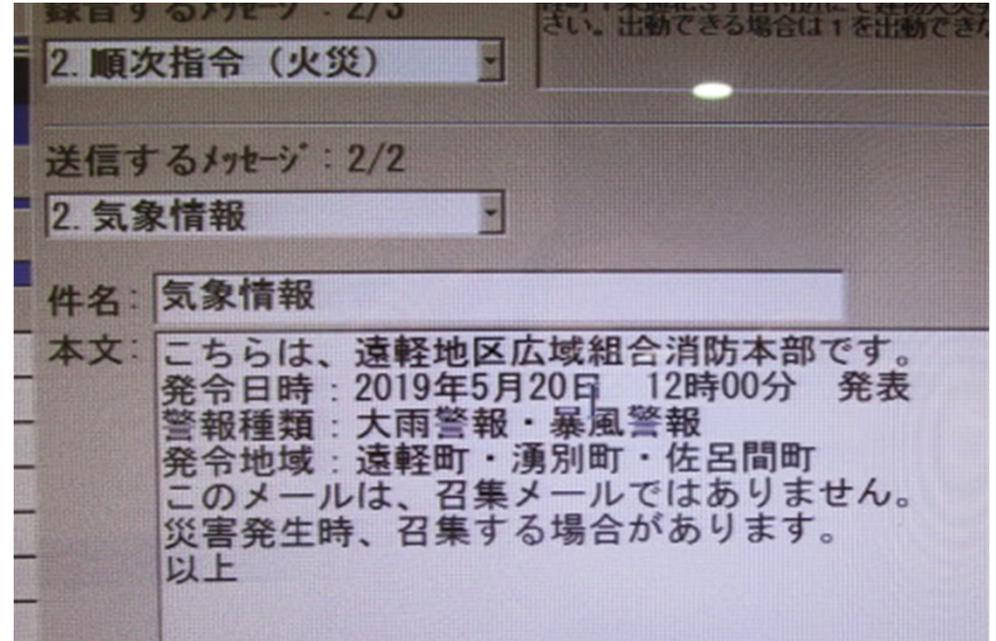
- ◇ デジタル化した防災行政無線の運用開始
- ◇ 防災拠点代替施設の検討を実施

遠軽町芸術文化交流プラザ(R4年8月オープン)



■ 避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- ・災害時に消防職・団員を招集する消防指令システムの機能で、電話とメールにて災害の発生情報と招集を行うものです。
- ・このメール機能を使って、大雨・暴風・暴風雪警報等の情報伝達を行っています。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する

■ 水防活動に必要な情報の共有

- ・迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を行う
- ・毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う

・一級河川水防連絡協議会地方部会が実施する合同巡視に参加し、資材ヤードの水防資機材や漏水・法崩れの恐れがある箇所、工事箇所を消防職・団員で確認した。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する

■水防活動体制の強化

・水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集(リーフレットやHPを通じた広報活動)や水防協力団体の募集・指定の促進

- ・不特定多数の人が出入りする場所に、消防団員募集ポスター掲示の協力依頼。
- ・消防団幹部を中心とした募集活動、事業所への声掛け。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する